

# 活動実績報告書

2013 年度(平成 25 年度)



公益財団法人 河野臨床医学研究所

北品川病院・第三北品川病院

リハビリテーション科

---

リハビリテーション科総括	・ ・ ・	p.3
北品川病院 代表	・ ・ ・	p.4
回復期病棟部門	・ ・ ・	p.5
医療療養型病棟部門	・ ・ ・	p.6
訪問リハビリテーション部門	・ ・ ・	p.7
第三北品川病院 代表	・ ・ ・	p.8

**資料**

・ 診療実績	・ ・ ・	p.9
・ 診療実績	・ ・ ・	p.9
・ 学術活動	・ ・ ・	p.9
・ 科内定期勉強会	・ ・ ・	p.10-11
・ 出張 (学会・研修会等)	・ ・ ・	p.12
・ 研修会参加状況 (院外)	・ ・ ・	p.13-15
・ 臨床実習受け入れ状況	・ ・ ・	p.15
・ 品の輪 (品川区リハビリテーションネットワーク勉強会)	・ ・ ・	p.15

---

# リハビリテーション科 統括

係長 小林 豊

## スタッフ配置

### □北品川病院

	前期 (4/1)	後期 (10/1)
理学療法士	13 名	14 名
作業療法士	7 名	6 名
言語聴覚士	3 名	3 名

### □第三北品川病院

	前期 (4/1)	後期 (10/1)
理学療法士	6.1 名	6.1 名
作業療法士	2 名	2 名
柔道整復師	2 名	2 名

## 目標

平成 25 年度は「患者さん・ご家族様に満足して頂けるように努める」というテーマを掲げました。①技術面、②学術面、③人的サービス面の充実を図り、より良いサービスを提供できる職場を作りあげていくことを目標としました。

## 反省・展望

平成 25 年度は 7 名の新入職員の入職で幕開けしました。うち 2 名は中途採用者であり、当科にとって拡がりの可能性を漂わせる新しい風を吹き込んでくれました。スタッフの増員は患者様へのサービス提供に貢献する喜ばしい出来事でしたが、円滑な業務実践にむけた業務の可視化と煩雑さの改善に取り組む必要がありました。業務パソコンの増数、報告書様式の整理、業務マニュアルの刷新、半期の活動報告会の開催など幾分か行えましたが、今後の継続した取り組みも責務と考えています。

また、大規模なリハビリ機器の新規導入も行うことができました。臨床研究を通じて実績を客観的に振り返る姿勢や、研修参加など自己研鑽に励む姿も年々増しているように見受けられます。これらが患者様により多く還元できるよう、次年度に継いでいきたいと思えます。

行事として、法人の創立 60 周年記念式典が催されました。式典の開催と記念誌の作成を通じ、これからのリハビリテーション科への期待が大きいことを実感しました。次年度もスタッフ一同、個々と組織の成長、患者様へのより良いサービスの提供に向けて邁進していきます。

# 北品川病院 リハビリテーション科

係長 梅津 可奈子

## 目標・取り組み

平成 25 年度は、スタッフの育成と、意見の出やすい現場作りを目標に、働きやすい環境作りに取り組みました。

### □内部プロセスの視点

#### ①リハビリ時間割表の効率化

今までの書式では各日ごとの修正が困難であり、変更がある場合は新たに作り直す必要がありました。院内オンラインでの管理に変更し、これらが解決して業務時間が短縮しました。

#### ②若人の会（意見交換会）の活用

会で出た意見を業務調整会議に挙げ、結果を各部署へ持ち帰り報告するシステムを構築しました。自分達の意見が院内会議に上げることで、若手スタッフのモチベーション向上につなげていきました。

### □顧客の視点

#### ①食事の評価（作業療法部門）

週に一度、昼食時に食事評価を実施し、整形疾患で OT・ST 非介入の患者様に食形態の確認・アドバイスを行いました。

#### ②麺食の変更

麺食のカット数を増やし、汁を減らしてトロミをつけることにより、器ごとですることによるムセ軽減、スプーンでのすくいやすさ向上を図りました。

#### ④新卒スタッフの患者担当

経験者と 2 名で患者様を担当する事により、患者様の満足度向上、不安の軽減に努めました。業務の円滑な遂行にも繋がりました。

#### ⑤季節ごとのボード作成（作業療法部門）

患者様に季節感を感じて頂くため、リハビリ室入口に季節ごとの絵などを掲示しました。

### □その他

#### ①ボトックス治療

注射前・後の評価、自主練習指導を実施しました。

## 反省・展望

新人教育をチーム制で実施しましたが、指導者ごとの教育内容にばらつきがありました。そのため到達度を客観的に評価し、時期ごとの目標を具体的に定めて教育に取り組むことが課題です。

平成 26 年度に向けて、各スタッフの役割分担、チーム制での新人指導の確立、2 つの病棟それぞれの特色をいかした取り組みを進めて、リーダー業務のできるスタッフの育成、チーム力向上を目指していきます。

# 北品川病院 回復期病棟部門

理学療法士 鈴木 裕子

## 取り組み

当病棟では、在宅生活を想定しての病棟 ADL 練習に取り組んできました。具体的には、ご家族様に依頼できる場合は『病衣ではなく、普段着で過ごす』、『ガーグルベースンではなく、洗面台で歯磨き・洗面を行う』ことなどを推進しました。科で対象患者様の評価、リストアップを行い、看護師・介護士に伝達しました。



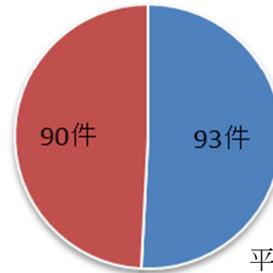
また、リハビリ・食事・入浴以外の時間は、患者様はベッドに臥床していることが多く、病棟での活動時間の少なさが指摘されていました。そこで、重症患者と在宅退院予定者を中心に、各リハビリ担当スタッフが病棟リハビリメニューを作成、看護師による病棟リハビリを実施し、病棟での寝たきり予防、活動時間の増加を図りました。



## Clinical Indicators

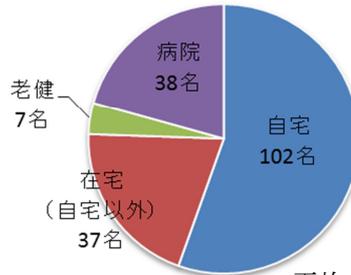
### H25年度リハビリ実施依頼

■ 運動器 ■ 脳血管



平均年齢 80 歳

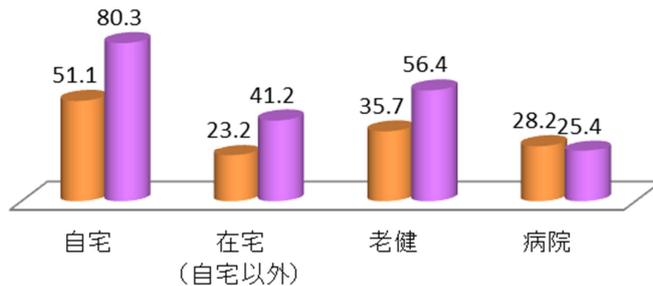
### 退院先



平均在院日数 78 日

### 退院先別 Bathel Index の変化(点)

■ 入院時 ■ 退院時



## 北品川病院 療養病棟部門

作業療法士 小坂 あゆみ

### 目標・取り組み

療養病棟として、リハビリ時間以外の患者様の過ごし方の改善が課題であると考えていました。その一歩として、看護師による病棟リハビリの実施を確実にすることにより、病棟での患者様の離床の機会を増やすことを目的に取り組みました。

また、患者様ご家族様からの意見をもとにサービス・質の向上を図るため、退院時アンケート調査の実施を開始しました。

#### □看護師による病棟リハビリ

確実に実施できるように、対象者は自宅退院を予定している、かつ自主トレーニングが自立見込みである方として開始しました。人数は8名前後と設定しました。

#### □退院時アンケート調査

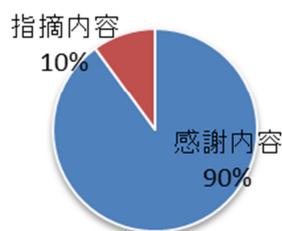
H26年1月より、患者様・ご家族様への退院時のアンケート調査を開始しました。アンケート内容は①病棟生活・病棟スタッフについて、②リハビリについて、③その他の要望・改善点についての3点と簡略にし、自由記載方式としました。結果は病棟スタッフにも見てもらえるようにし、改善点は病棟ミーティングにおいて検討しています。

### 反省・展望

病棟リハビリの実施は、勤務している看護師の人数や仕事量により実施できていない日もあり、確実な実施には至っていません。練習メニューを絞り、介護士の見守りのもとでもできる内容にするなどして、確実に毎日実施して頂けるよう相談してまいります。

退院時アンケート調査は、全員の患者様に書いて頂けていない状況でした。今後は用紙の配布・管理方法について病棟と話し合いを進め、回収率の向上を目指してまいります。

### アンケート結果(リハビリについて)



感謝内容	不安の払拭・丁寧な対応
	素早い対応
ご指摘内容	退院に向けた住環境整備・視察
	リハビリ内容の意図の説明不足

# 北品川病院 訪問リハビリテーション

理学療法士 免田 裕臣

## 概要

理学療法士・作業療法士がご自宅を訪問し、心身機能の維持・回復のためのリハビリ、生活に必要な動作・介助方法の指導、住環境・福祉用具等の相談に応じます。また、利用者が有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援します。



全国平均に比べ当院の訪問リハビリテーション利用者は、要介護 1 から 2 の伝い歩きもしくは車椅子自立レベルの方、要介護 3 の屋内車椅子介助レベルの方が多く特徴があります。また要支援 1~2 のほぼ歩行は自立していますが、日常生活に介助が必要な方、要介護 4~5 の介助量が重い方は、全国平均に比べて少ない傾向にあります。

## 目標・取り組み

前年度より訪問専従スタッフを配置しており、①利用者数の増加、②売り上げの向上、③回転率の向上を目標としていました。

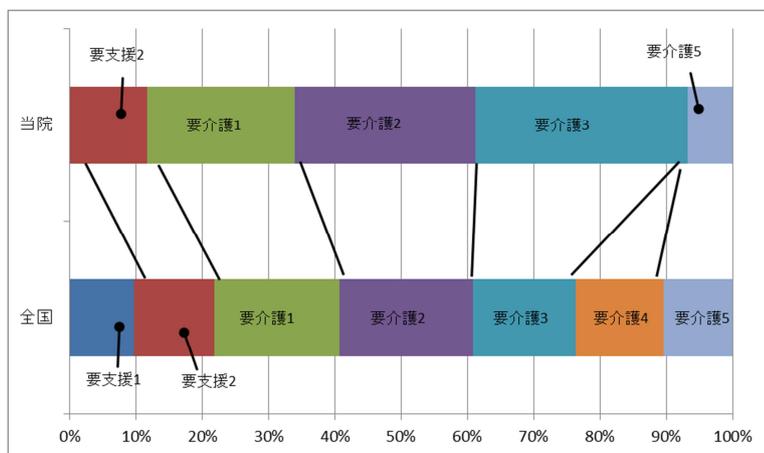
取り組みとして、病院内のリハビリカンファレンスに参加して候補者をリストアップし、担当セラピストや科内の会議で提案を行ってきました。

## 反省・展望

H25 年度は前年比で利用者数、件数、売上が増加しました。件数は各月約 20 件ずつ増加し、サービスを提供する地域は品川区だけではなく港区への参入による拡大も行えました。

利用者は当院の退院患者が多数を占めていますが、他事業所からの依頼も増えてきています。はじめて関わりを持つ事業所とは、細やかに連絡をとり事業連携を取る必要がありますが、伝達不足であった事例もありました。

次年度は、売上だけではなく、コミュニケーション手段や提供するサービスの質を高めていく必要があります。



介護給付費実態調査月報 (H24 年度 4 月 審査分) より

## 第三北品川病院 リハビリテーション科

係長 宮入 裕樹

### 目標・取り組み

- 第三北品川病院 リハビリテーション科 勉強会の実施
- 研究への取り組み

### 反省・展望

H25 年度は、リハビリ患者数年 744 名、月平均 57 名となりました。前年と比較して対象者数が増えましたが、同時に平均年齢も 73.8 歳と高齢化し、在院日数が延びている傾向にありました。今後はより高齢化が想定され、早期から医師・看護師・MSW と連携をとり、スムーズに在宅または回復期病院へ転院できるシステム作りを課題として取り組んでいきます。

#### □ 学習・成長への取り組み

知識・技術の向上を目標に年 25 回の勉強会を行いました。「筋の作用」や「筋力トレーニングについて」という基礎的なものから、「ボバースアプローチ」や「MSI (Movement System Impairment) について」など様々な評価・治療法を学ぶことで、実際の臨床場面で患者様に応用できる勉強

会となりました。また、柔道整復士やソーシャルワーカーを講師として招き、他職種の仕事内容や医療制度を学ぶことができ、他部署との交流の場を設けることができただけでなく、他職種の仕事を理解する良い機会となりました。

#### □ 臨床研究

年度末に行われた第 53 回河医研医学会総会で 2 演題のポスター発表を行いました。発表したスタッフだけでなく、スタッフが個々にテーマを見つけながらデータ収集を行うなど、今年度は当財団の方針にもあるリサーチマインドを持って業務にあたることができているのではないかと思います。

#### < 第 53 回河医研医学会総会 発表演題 >

- 転倒場所別大腿骨近位部骨折による受傷者の臨床特性
- 当院における腰痛発生の実態調査

今後も、他部署・他職種との連携のもと、患者様のためにより良い治療を提供できるようにしていきたいと思っております。

## 資料

## 診療実績（入院：医療保険）

## □ 単位数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北品川病院	PT	3,946	4,310	4,687	4,944	4,725	3,897	4,498	3,877	4,153	4,100	3,815	4,028
	OT	2,055	1,970	2,034	2,368	2,321	2,041	2,186	2,136	2,336	2,140	2,105	1,771
	ST	765	691	910	953	920	870	934	911	1,078	972	1,018	1,061
	合計	6,766	6,971	7,631	8,265	7,966	6,808	7,618	6,924	7,567	7,212	6,938	6,860

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第三北品川病院	PT	1,978	1,859	1,913	1,868	2,156	1,784	1,986	2,051	2,237	2,182	1,931	2,159
	OT	418	359	366	404	427	361	422	353	372	378	299	650
	合計	2,396	2,218	2,279	2,272	2,583	2,145	2,408	2,404	2,609	2,560	2,230	2,809

## □ リハビリテーション実施件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北品川病院	PT	1,901	1,925	1,921	1,942	2,054	1,665	1,863	1,737	1,899	1,886	1,771	1,905
	OT	972	947	960	1,114	1,175	1,040	1,001	965	1,037	1,002	952	888
	ST	391	327	385	440	463	434	473	454	546	492	526	576
	合計	3,264	3,199	3,266	3,496	3,692	3,139	3,337	3,156	3,482	3,380	3,249	3,369

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第三北品川病院	PT	1,086	986	1,010	960	1,239	869	1,051	1,068	1,406	1,383	1,259	1,155
	OT	182	165	206	193	252	155	210	167	215	209	181	298
	合計	2,354	2,137	2,226	2,113	2,730	1,893	2,312	2,303	3,027	2,975	2,699	2,608

## 診療実績（訪問：介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施件数	115	119	122	146	138	129	156	148	149	121	112	150
短期集中加算①	3	1	2	6	1	0	0	5	6	4	0	0
短期集中加算②	14	21	17	18	21	17	16	15	12	18	13	13

## 学術活動（発表）

演題名	様式	学会名	発表者
外科的下肢血行再建術後の透析患者の死亡/下肢切断リスクの検討	口述	第58回日本透析医学会 学術集会・総会	PT山崎
医療型療養病床におけるリハビリテーション部門の役割	口述	第9回東京都病院学会	PT小林
当院回復期リハビリテーション病棟の自宅復帰患者の推移	口述	第9回東京都病院学会	PT鈴木
転倒場所別大腿骨近位部骨折による受傷者の臨床特性	ポスター	第53回河医研医学会総会	PT麻生
反復性肩関節脱臼術後、再脱臼の徒手整復に難治した症例	ポスター	第53回河医研医学会総会	JT木村
当院における腰痛発生の実態調査	ポスター	第53回河医研医学会総会	PT徳山
訪問リハビリテーションの業務実績	ポスター	第53回河医研医学会総会	PT免田

## 資料

## 科内定期勉強会

日程	内容・題名	発表者
4/3	退院前訪問指導を通じて～GOAL設定が至らなかった症例～	OT合木
	在宅でより良い生活を送るために～訪問リハビリの症例を通じて～ 特殊尿器について	PT免田 OT清水
4/10	インフォーマルサービスの利用について～ケーススタディを交えて～	PT西村
	前頭葉のはたらきと症状	OT堀井
	骨盤帯セミナー伝達	PT北村
4/17	肩の機能	OT土居
	作業からの回復	OT渡部
4/24	摂食・嚥下障がいに対する呼吸リハビリテーション	ST高橋
	第1回リスク勉強会 KYT演習	PT宮田・OT清水・合木
5/1	心臓リハビリテーションから考える呼吸・循環・運動の関係について	OT小坂
	心疾患のリスク管理	PT徳山
	遂行機能障害症候群の行動評価 日本版について	ST五十嵐
5/8	療養型病床に入院する患者の循環器疾患の有病状況は！？	PT小林
	病棟でのPTの役割～脳梗塞の症例を通して～	PT大橋
	利用者様と決める目標設定～訪問リハビリを通じて～	PT免田
5/15	脳卒中のリハビリテーション リハビリテーションの新展開	PT宮入
	3Hにおけるインシデント・アクシデントの傾向と対策	PT宮田
	術後の生体反応を踏まえた大腿四頭筋と周囲組織の理解	PT麻生
5/22	栄養管理とリハビリテーション	OT山岸
	栄養管理とリハビリ～リハ栄養～	PT梅津
	回復期病棟区分変更後の当院の変化と今後の課題について	PT鈴木
5/29	術後疼痛が動作に影響を与えている大腿骨転子部骨折の症例	PT山崎
	症例検討「筋ジストロフィーを呈した患者の退院後の生活について」	PT吉田
	ボバース療法～姿勢の見方～	PT佐藤
6/5	脳梗塞右片麻痺症例の歩行能力獲得と目標設定の検討	PT丸川
	症例報告～歩行スピードに着目して～	PT三井
	治療におけるクリニカルリーズニングについて 大腿骨頸部骨折の症例を通じて	PT坂井
6/12	症例検討～麻痺側過高関節周囲の疼痛と上肢の不安定性に着目した症例～	OT小川
	パーキンソン病を呈する症例への訓練と考察	ST梅澤
6/19	臨床実習生指導について① グループ討論	
6/26	臨床実習生指導について② グループ発表	
7/3	第2回リスク勉強会 急変時の対応①～起立性低血圧による意識一時消失～	PT宮田・OT合木
7/10	第2回リスク勉強会 急変時の対応②～頭蓋内圧亢進症状／転倒への対応～	PT宮田・OT合木
7/17	慢性硬膜下血腫を呈した症例～バランスの評価と今後に向けてのアプローチ～	PT坂井
	症例報告～立ち上がり、移乗動作の獲得に向けて～	PT三井
	症例発表～COPD及び末梢循環不良の症例に対する循環動態の評価と起立性低血圧～	PT山崎
7/24	外傷性クモ膜下出血と診断された症例の評価と訓練	ST梅澤
	症例検討～車椅子自走動作獲得を目指して～	OT小川
	両片麻痺を呈し、下肢感覚障害がある症例～ボディーイメージの再構築と基本動作能力向上に向けて～	PT丸川
7/31	タイプ分け性格診断テストを用いたワーク	PT久保
8/7	訪問リハビリ	PT免田・外間・OT土居
8/14	リハビリテーション科 部門別上半期報告	
8/21	症例報告～立ち上がり、移乗動作の獲得に向けて～	PT三井
	症例報告 右大腿骨頸部骨折を呈した症例～左膝関節の疼痛軽減に向けて～	PT坂井
	症例報告 脳梗塞患者におけるベッド上動作の自立	PT山崎
8/28	音韻分析・入力・出力配列に障害があると思われる症例の院内生活についての検討	ST梅澤
	症例検討 更衣動作獲得に向けて	OT小川
	両片麻痺を呈し、日中の覚醒が低下している難渋例 リハビリに影響する諸要因について	PT丸川
9/4	リハビリテーション科 上半期報告	PT小林
9/11	経口摂取移行への手順	ST高橋
	栄養知識について	OT山岸
	認知機能とそれに伴うスクリーニング検査について	OT小坂
9/18	橈骨遠位端骨折	OT堀井
	浮腫について～評価の必要性～	PT三井
	左片麻痺患者の歩行獲得に向けて	PT大橋
9/25	歯科治療が身体に及ぼす影響～態癖について～	OT小川
	訪問リハビリの課題と取り組み～目標達成シートの作成と検討～	PT外間
	腰痛・椎間板ヘルニアを呈した症例	PT徳山

## 資料

日程	内容・題名	発表者
10/2	筋機能改善のメカニズム	PT麻生
	体幹と上肢 ～腹斜筋と前鋸筋～	OT土居
	大腿骨近位部骨折術後患者における血清総たんぱく値と歩行能力の関係	PT宮田
10/9	頭痛に対する徒手療法	PT小林
	聴診について	PT服部
10/23	口腔・嚥下機能評価について	ST梅澤
	臥床による呼吸器への影響. 酸素療法について	PT鈴木
	上肢と体幹のつながりについて	PT佐藤
10/30	嚥下食の紹介とトロミの付け方	ST五十嵐
	片麻痺患者の屋外歩行について	PT免田
	AKA-博田法 関節モビライゼーション	PT北村
11/6	基盤的認知能力について	PT坂井
	骨関節疾患の評価と治療 ～痛みに着目して～	PT宮入
	呼吸とケア	PT丸川
11/13	重度右半側空間無視と四肢麻痺を呈した症例への介入	OT渡部
	北品川病院におけるインシデント・アクシデントの傾向	OT合木
	CORE機能とロコモーション	PT山崎
11/20	Parkinson Diseaseについて ～ケース報告～	PT梅津
	リハビリテーションにおける精神的支援	PT西村
11/27	入院患者さんのストレス対処法について	PT喜谷
	皮質下出血を呈した症例の高次脳の検討	ST高橋
12/4	反復促通療法の理論と実際	OT山岸
	第3回リスク勉強会 ガウンテクニックについて	PT宮田・OT合木
12/11	脊椎圧迫骨折によりADL全介助となった症例	PT三井
	橈骨遠位端骨折と合併症	OT堀井
	離床時のVital Signに関して	PT大橋
12/18	障害受容について	OT小川
	コミュニケーション・嚥下の伝達講習	OT花輪
	Pusher症候群について	PT徳山
12/25	大腿骨近位部骨折における屋内・屋外受傷者の検討	PT麻生
	症例検討 ～当院から退院した後の介入～	PT外間
	在院日数短縮に向けたリハビリ科としての取り組みについて	PT宮田
1/8	情報共有について(施設間連絡表)	PT小林
	誤嚥性肺炎の予防と治療(理学療法的介入)	PT服部
	症例報告 ブローカ失語を呈した症例について	ST梅澤
1/15	回復期病棟入院患者の推移	PT鈴木
	装具について	PT佐藤
	口腔内の汚れとケアについて(実技)	ST五十嵐
1/22	ケーススタディ 在宅で良い生活を送るために	PT免田
	低血圧について	PT北村
	症例報告 ～大腿骨頸部骨折～	PT坂井
1/29	筋・筋膜へのアプローチ(筋のつながりとトリガーポイント)	PT宮入
	脳画像の基礎知識と症例検討	PT丸川
	RAと左片麻痺を呈した症例について	OT渡部
2/5	患者様に対する精神分析方法の紹介	OT合木
	動作開始時における不安定性の検討	PT山崎
	インナーユニットの活用について	PT喜谷
2/12	ADLについて	PT梅津
	セラピストの腰痛予防のために	PT西村
2/19	全国回復期病棟協議会伝達講習「回復期の役割」	PT梅津
2/26	全国回復期病棟協議会伝達講習「チームアプローチについて①」	PT梅津
3/5	全国回復期病棟協議会伝達講習「チームアプローチについて②」	PT梅津
3/12	態癖・咬合が全身に与える影響	小川歯科クリニック 小川先生
3/19	第4回リスク勉強会 KYT演習	OT合木・PT宮田

## 資料

## 出張（学会・研修会等）

5/29	東京都保険福祉局 指定(介護予防)リハビリテーション事業所の集団指導
6/8	東京工科大学 医療保険学部 作業療法学科 医療機関合同説明会
6/16	日本運動器科学会 平成25年度 前期セラピスト資格取得研修会
6/22-23	日本透析医学会 第58回 日本透析医学会 学術集会・総会
7/13	日本理学療法士協会 痛み・麻痺・運動障害に対する治療的アプローチの理論と実践
7/25-27	日本理学療法士協会 質の高いリハビリテーション部門運営のための仕組み作りとその実行
8/1-3	文京学院大学 夏期集中セミナー
8/24	東京福祉専門学校 作業療法士就職説明会
8/29	学校法人 福岡保健学院 4校合同就職説明会
9/21	臨床福祉専門学校 平成25年度 第2回言語聴覚療法学科就職説明会
9/28	日本離床研究会 整形外科術後急性期に起こるトラブル対策とADLアップのコツ
10/18	森山リハビリテーションクリニック 内覧会
11/5	帝京平成大学 作業療法学科・学内就職説明会
11/8	東京工科大学 医療保険学部 理学療法学科 臨床実習指導者会議
11/19	平成25年度 自立訓練事業説明会
11/25	慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 第25回 ADL評価表FIM講習会
12/7	ポツリヌスとリハビリ治療研究会
12/7-8	回復期リハビリテーション病棟協会 平成25年度 第1回病棟管理者研修会
1/19	合同会社 gene 脳画像のリハビリテーションへの活用
1/19	東京都診療整形外科医会 セラピスト資格継続研修会
2/15	東京都理学療法士協会 平成25年度 第4回新人教育プログラム研修会
2/16	東京都病院協会 第9回 東京都病院学会
2/23	東京マラソン2014(15km地点)
3/8	回復期リハビリテーション病棟協会 第69回 全職種研修会
3/21	回復期リハビリテーション病棟協会 平成26年度 診療報酬改定説明会
3/30	日本運動器科学会 平成25年度 第3回教育研修講演会

## 資料

## 研修会参加状況（院外）

日程	研修会名	参加者			
4/21	形態構築アプローチ基礎編	PT北村			
4/21	足関節・足部の機能解剖	PT大橋			
4/21	心臓リハビリテーションから考える呼吸・循環・運動の関係について	OT小坂			
5/19	中枢神経疾患リハビリテーションにおける臨床的な評価方法	OT渡部			
5/29	指定(介護予防)訪問リハビリテーション事業所の集団指導	PT免田	OT土居		
6/2	関節運動学的アプローチ	PT大橋			
6/2	ポバース概念に基づく脳卒中片麻痺の姿勢コントロールの評価と治療	OT山岸			
6/7	第09回 品の輪	PT三井	PT梅津	PT小林	PT山崎
		PT西村	OT堀井	PT宮入	PT丸川
		OT小川	PT大橋	PT坂井	OT渡部
		PT鈴木	OT山岸		
6/15	エビデンスベース理学療法の方法と実践	PT麻生			
6/16	日本運動器科学会 平成25年度前期セラピスト取得研修会	JT井上			
6/22-23	第58回日本透析医学会 学術集会・総会	PT山崎			
6/23	オーストラリアンマニュアルセラピー 投手療法アドバンス疼痛のサイクルを断ち切るテクニック	OT渡部			
6/24	膝OAのリハビリ	PT大橋			
6/30	中枢疾患への治療介入 ～バイオメカニクスの視点から～	PT山崎	OT山岸	PT小林	PT坂井
		OT小川			
7/5	H25年度 第1回リハネット	PT小林			
7/7	ピラティスマソッドによる機能的な身体への導き	PT麻生			
7/7	理学療法士職域拡大セミナー(頭痛の評価と治療)	PT小林			
7/13	痛み、麻痺、運動障害に対する治療アプローチの理論と実践	PT吉田			
7/14	失語症候とその対応	ST五十嵐			
7/15	新人が確実に結果が出せる技術集セミナー	PT坂井	OT小川		
7/15	神経心理症候とその対応	ST五十嵐			
7/21	運動学に基づいた基本動作ADL動作の誘導	OT渡部			
7/21	3大栄養素基礎知識(蛋白質・脂質・炭水化物)	OT山岸			
7/25-27	理学療法士協会セミナー「質の高いリハビリテーション部門運営のための仕組み作りとその実行」	PT小林			
7/28	上肢理学療法の展開～体幹機能への波及～	OT山岸			
7/28	簡便かつ信頼性の高い筋力評価法の実践	PT小林	PT宮入	PT西村	PT山崎
		PT麻生	OT堀井	OT小川	PT宮田
		PT坂井			
8/1~8/3	夏期集中セミナー(文京学院大学)	PT丸川			
8/4	運動器認定理学療法士必須研修会	PT吉田			
8/4	摂食・嚥下機能支援事業 評価医療研修 リハビリチーム養成研修	ST梅澤	OT堀井		
8/11	高次脳機能障害、実践的アプローチ講習会	OT合木			
8/11	圧迫骨折の病態理解とそのアプローチ	PT徳山			
8/25	AKA博田法 紹介コース	PT北村			
8/25	なるほど！失語症の評価と治療	ST梅澤			
8/25	酸素療法・人工呼吸器の基礎と呼吸アセスメント講座	PT鈴木			
8/26-27	呼吸療法認定士 認定講習会	PT鈴木			
8/31-9/1	下肢の運動学と理学療法A	PT徳山			
9/1	関節モビリゼーション(下肢)	PT北村			
9/4	脳血管障害に対する介入方法	OT小川			
9/8	摂食・嚥下機能支援事業 評価医療研修 リハビリチーム養成研修	PT北村			
9/8	MSIアプローチ	PT徳山	PT小林		

## 資料

日程	研修会名	参加者			
9/10	第10回 品の輪	PT梅津	PT小林	PT大橋	PT丸川
		OT小川	OT山岸	OT渡部	
9/15	言語聴覚の日「当事者体験を語る」	ST五十嵐			
9/21	大田区会	PT小林	PT北村	PT大橋	PT丸川
		OT渡部	OT山岸		
9/22	回転理論と回転軸について	PT大橋			
9/22	脳を理解するための基本的な解剖学的知識と画像のみかた	OT小川			
9/30	整形外科術後急性期におこるトラブル対策とADLupのこつ	PT佐藤			
10/6	脳卒中片麻痺患者の歩行アプローチ	PT大橋			
10/17	国際福祉機器展	OT小坂			
10/20	認知高齢者の在宅支援	OT小坂			
10/20	体幹COREアプローチ	PT山崎			
10/20	認知症高齢者の在宅支援の在り方	OT渡部			
10/27	理学療法士のための高次脳機能障害研修会	PT坂井			
	起き上がりから寝返りまで	PT山崎			
11/2-3	関東甲信越ブロック理学療法士学会	PT宮入	PT佐藤	PT宮田	PT大橋
		PT麻生	PT徳山	PT丸川	OT堀井
11/4	肘・手関節外傷に対する運動療法と触診	OT堀井			
11/10	高次神経機能障害へのアプローチ	OT渡部			
11/10	機能解剖と運動連鎖の橋渡し	PT大橋			
11/10	内部疾患に対する理学療法	PT三井			
11/17	東京都言語聴覚士会	ST五十嵐			
11/17	PNF学術集会	PT大橋			
11/17	生活的視点からの高次脳機能障害(総集編)	OT合木			
11/23	第25回FIM講習会	PT鈴木	PT西村	OT渡部	
11/23	促通反復手技の理論と治療成績	OT山岸			
11/23	中枢神経麻痺への電気刺激アプローチ法	OT山岸			
11/24	生活的視点からの高次脳機能障害(総集編)	OT合木			
11/30	第11回 品の輪	PT小林	PT宮入	PT大橋	PT徳山
		PT鈴木	PT三井	PT山崎	PT丸川
		OT小川	OT渡部	OT山岸	
12/1	第3回新人プログラム研修会	PT麻生			
12/4	高次脳機能障害 ～心と身体で支えるリハビリテーション～	PT梅津	PT三井	PT坂井	OT花輪
		OT合木	OT小川	OT山岸	OT山岸
		OT渡部			
12/6	新人スキルアップセミナー 体幹	PT麻生			
12/7	ボツリヌス治療とリハビリテーション	OT堀井	OT小坂		
12/8	高次脳機能障害 第3回実践的アプローチ講習会	OT合木			
12/13	コミュニケーションと嚥下を改善する呼吸リハの実践講習	OT花輪	OT堀井	PT鈴木	OT小坂
12/15	高次脳機能障害とリハビリテーション	OT山岸			
12/15	脳損傷者リハビリテーション講習会	OT合木			
12/15	学習理論と基盤した説教的上肢訓練	OT渡部			
12/21	CI療法のすべて	OT山岸			
1/12	呼吸機能と体幹の関係	PT麻生			
1/13	タッチを極めて効果を上げる	PT麻生			
1/19	東京マラソン2014医療救護研修会	PT麻生			
1/19	セラピスト資格継続研修会	JT井上			
1/19	脳画像のリハビリテーションへの活用	PT山崎			
1/23	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	PT麻生	PT免田		
2/9	呼吸機能と体幹の関係②	PT麻生	PT免田		
2/9	脳損傷を考える	PT佐藤			
2/15	第4回新人教育プログラム	PT麻生	PT丸川	PT山崎	PT坂井
		PT三井			
2/15-16	人間作業モデル講習会	OT小川			

資料

日程	研修会名	参加者			
2/16	CI療法と脳卒中片麻痺の機能改善への理論とアプローチ	PT山崎			
2/16	第9回東京都病院学会	PT小林 OT渡部	PT西村	PT鈴木	OT山岸
2/16	骨盤・体幹部の解剖学的重要ポイントと評価・治療	PT麻生			
2/16-17	関節モビリゼーション	PT坂井			
3/8-9	第69回 回復期リハビリテーション病棟協議会 全職種研修会	PT鈴木	OT小坂		
3/9	食事場面の車椅子シーティング	OT小川			
3/21	平成26年度診療報酬改正講習会	PT小林	PT梅津		

臨床実習受け入れ状況

	学校名	実習	人数
理学療法部門	国際医療福祉専門学校	インターン	1名
	文京学院大学	インターン	1名
	文京学院大学	評価	1名
	東京工科大学	インターン	1名
	東京工科大学	検査測定	2名
	北里大学	インターン	1名
	帝京科学大学	インターン	1名
	東京メディカルスポーツ専門学校	インターン	1名
	東京衛生専門学校	見学	3名
作業療法部門	東京工科大学	インターン	1名
	東京福祉専門学校	インターン	1名
	東京福祉専門学校	見学	1名
	帝京平成大学	評価	1名

品の輪（品川区リハビリテーションネットワーク勉強会）

	日程	開催場所	講演
	参加数	参加施設	症例検討/グループ討議
第9回	6月7日	昭和大学病院	『リハビリ栄養について』 ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー 管理栄養士 小牧 早織
	32人	7施設	発表『重度右片麻痺を呈した症例～在宅復帰に向けたアプローチ』 社会福祉法人 さくら会 介護老人保健施設 ケアセンター南大井 作業療法士 矢筈原 隆史 理学療法士 伊藤 滋唯
第10回	9月10日	昭和大学病院	『知っているかも！？品川区の在宅生活を支えるサービス その①～介護保険制度 + α～』 ケアセンター南大井 理学療法士 伊藤 滋唯 氏
	25人	7施設	『左片麻痺・両側TKA・右肩板断裂を呈した症例～軽費老人ホームで生活を続けるためのリハビリアプローチ～』 社会福祉法人 福栄会リハビリセンター 理学療法士 鈴木 照雄 氏
第11回	11月30日	昭和大学病院	『糖尿病の運動療法・CDEJとは』 株式会社東芝 東芝病院 理学療法士 大山 貴裕 氏
	34人	9施設	『施設間の情報提供 ～ほしい情報・必要な情報・情報は 生かされている！？～』 公益財団法人 河野臨床医学研究所附属北品川病院・第三北品川病院 理学療法士 小林 豊 氏
第12回	3月2日 11名	北品川病院 6施設	『呼吸器リハの常識？非常識？』 日産厚生会 玉川病院 千葉 哲也氏